

事務事業評価表（公共施設）

1次評価日（主幹等） 30年3月31日

2次評価日（課長等） 30年3月31日

1 事業名	ラオカヤ施設管理事業			コード	21206	
2 担当部課	部等	産業振興部	課等	商業観光課	作成者	佐藤 嘉泰
3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち			
		政策	産業の振興	施策	商業の振興	
		予算科目	岡谷駅前再開発ビル管理事業費	業務委託	一部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市ララチャレンジ広場設置要綱			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的 *対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

施設の概要 (簡潔に)	施設の維持管理	
目的	対象者	施設利用者
	意図	利用者が安全・快適に施設を利用できるよう適切な維持管理を行う。

5 施設の管理運営状況

指定管理者		29年度指定管理料	円
施設における 通常業務	ラオカヤ管理組合事務局業務及び市保有床の賃貸借		
事業の実施内容	(29年度に施設で行った運営事業・自主事業など) 施設維持管理業務（管理組合事務局） チャレンジ広場の管理運営をNPO法人維新塾へ委託 チャレンジ広場（レンタルボックス、イベント広場）活用の推進 テナント使用料、チャレンジ広場使用料等の徴収		
前年度の課題 への対応	駅前地区のあり方を総合的に検討する（継続中）		

6 施設の利用状況

*①は貸館施設のみ対象(ただし年間開設日数は入力) *②・③はどちらかの欄に記入 *

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数(日)	353	352	352	352
1日の開設時間(時間)	9	9	9	9
年間利用可能時間(時間)	3,177	3,168	3,168	3,168
年間利用実績(時間)	3,177	3,168	3,168	
② 年間利用者数(人)	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数(件)	1,860	1,858	2,082	2,015
有料利用件数	1,845	1,842	2,066	2,000
無料利用件数	0	0		0
減免措置件数	15	16	16	15
④ 1日あたり利用者数、件数	5.3	5.3	5.9	5.7
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	57,076,185	56,123,798	55,254,028	59,630,000
経常経費	57,076,185	56,123,798	55,254,028	59,630,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000
正規職員の人数(人)	0.76	0.76	0.76	0.76
③ 合計コスト(①+②)	63,156,185	62,203,798	61,334,028	65,710,000
前年度比		98.5%	98.6%	107.1%
財源				
一般財源	45,746,348	45,328,336	45,675,979	49,421,000
内訳 特定財源	17,409,837	16,875,462	15,658,049	16,289,000
* 特定財源の説明	財産使用料、テナント実費徴収金			
④ 施設使用料年間収入額	17,409,837	16,875,462	15,658,049	16,289,000
⑤ 年間減免措置額	208,080	135,360	135,360	150,000
⑥ 受益者負担割合	30.9%	30.3%	28.6%	27.6%
⑦ 活動一単位あたりコスト	33,955	33,479	29,459	
前年度比		98.6%	88.0%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		0

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。		0
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 112.1%	
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 92.8%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	ラオカヤビルを中心とする駅前地区のあり方を検討中のため、現状維持をしていくための修繕しかできない状況である。	
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	駅前地区やラオカヤビルの調査検討するなかで方針付けが必要である。	
改善開始時期	未定	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B	
13 大規模修繕の予定				
予定事業費	—	円	予定時期	0
内容				

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	21206	ララオカヤ施設管理事業
-----	-------	-------------

1 施設の維持管理にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
需用費	285,293		285,293	消耗品
役務費	63,611		63,611	火災保険料
委託料	8,210,160		8,210,160	
使用料及び賃借料	51,840		51,840	インターネット使用料
負担金補助及び交付金	46,643,124		46,643,124	共益費負担金
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	55,254,028	0	55,254,028	

2 施設の維持管理にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.76		0.76人
合計	6,080,000	0	6,080,000円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
財産使用料	8,996,503		8,996,503	テナント使用料
テナント実費徴収金	6,661,546		6,661,546	
			0	
			0	
			0	
合計	15,658,049	0	15,658,049	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	45,675,979	0	45,675,979

施設の運営コスト計算シート

事業名	21206	ララオカヤ施設管理事業
-----	-------	-------------

1 施設の運営にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

2 施設の運営にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数			0.00人
合計	0	0	0円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	0	0